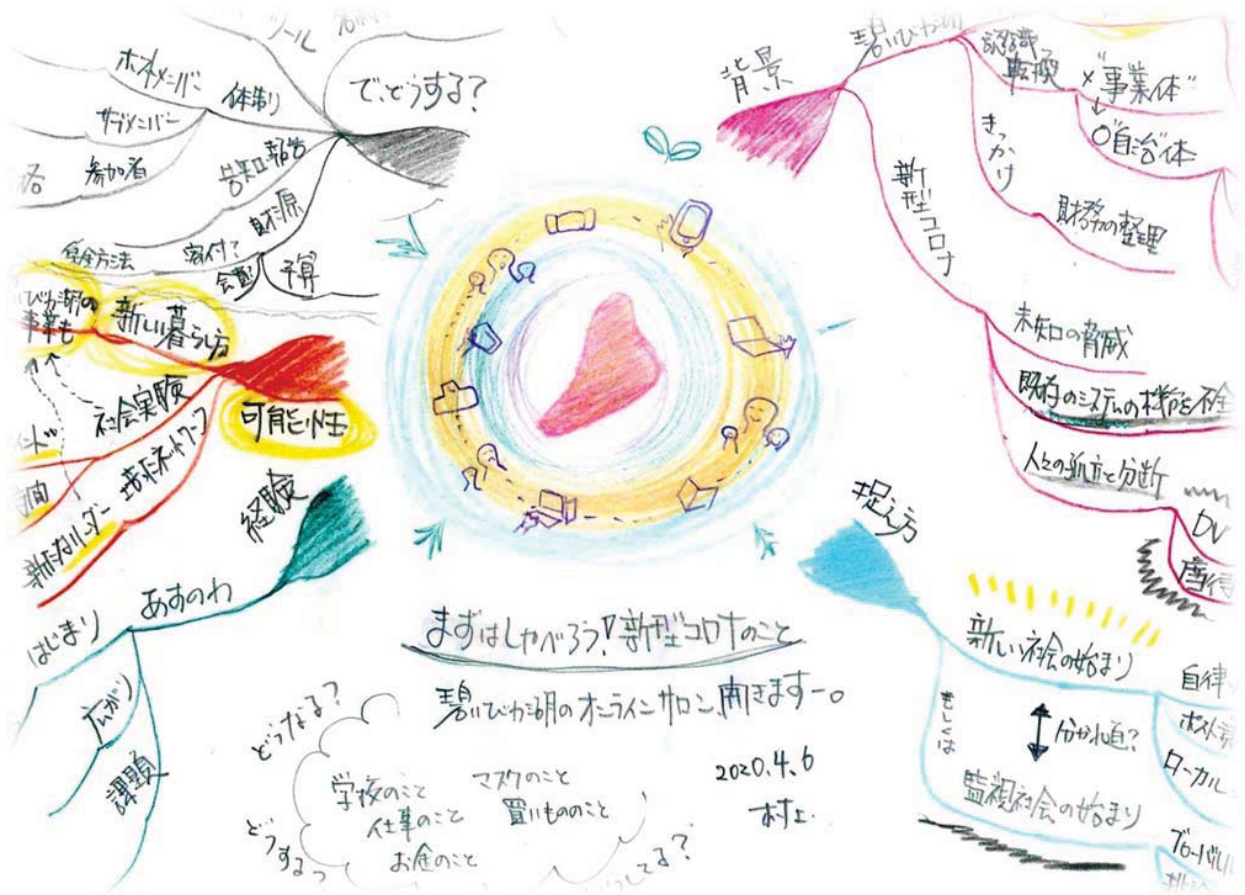


特定非営利活動法人 碧いびわ湖

# 年間活動レポート

## 2020年版



子どもと湖が笑ってる未来へ

# 碧いびわ湖

# 碧いびわ湖は 自分たちが望む暮らしを 力を合わせて創る場です

琵琶湖は、私たちの暮らしを映す鏡のような存在です。

40 数年前、琵琶湖の湖面が「赤潮」で赤錆色に染まったのは  
時間に追われ、便利さや安さに惹かれた人々の暮らしの帰結だったと言えます。

いま琵琶湖の水は、当時より澄んできましたが  
生き物たちのにぎわいは戻ってきていません。  
堰や水門などが生き物たちの移動をさまたげ、  
ゆりかごでもある内湖や水草帯が減ったことが大きな要因と言われています。

こうした「つながりの分断」や「次世代を育む力の弱まり」は  
私たちの社会でも同じように起きていることではないでしょうか。

社会をつくるのは、私たちの日々の暮らしです。

食事、買い物、住まい、仕事、遊び…  
そのあり方が、私たちと子どもたち、  
そして琵琶湖の未来を決めていきます。





だから 共に変わっていきませんか  
つながりを育み  
子どもたちが元気に育っていける暮らしへ

あなたの参加が、力になります。  
子どもと湖が笑ってる未来を、共に創る力に。



# 「市民自治」から”運動”と”事業”を生みだす

碧いびわ湖の活動の基盤は「市民自治」です。一人ひとりが想いを語り合い、聴き合い、理解し合って、共に考えること。その中から、社会に変化を起こす”市民運動”や、暮らしを支える”市民事業”を生みだします。そしてその事業がまた「市民自治」を持続させています。

買い物づくり	住まいづくり	地域づくり
<p>子どもたちの命と琵琶湖の水を守る生協運動を原点に、地域の有機農産物やリサイクル製品を購入する「共同購入」と、ティッシュ・ロールの原料の牛乳パックやせっけん原料の廃食用油を回収する「リサイクル」の事業を行っています。</p> 	<p>琵琶湖の水を守る合併浄化槽設置運動を原点に、環境や子育てのことを考えた「住まいづくり」の事業を行っています。無垢の木の家づくり、雨水タンク、太陽熱温水器、薪ストーブの設置工事などを行っています。ワークショップもしています。</p> 	<p>自然が豊かで子どもたちが生き生きと育つことのできる環境づくりを市民がすすめる「地域づくり事業」を行っています。ホテルが自生する川づくり（守山市）、多様な人々の琵琶湖の保全への参加促進（全県）などを行っています。</p> 
<h2>市民自治</h2>		
<p>気になっていること、やってみたいことなど、色んな思いを、互いに語り合い聴き合うことから協力を生み出す「市民自治」をしています。市民メディア「あまいろだより」の発行や、子育て中のお母さんがほっとできる場「あすもの日」などの活動もその中から始まりました。</p>		

## はじまりは、琵琶湖のせっけん運動でした

1977年5月、琵琶湖の湖面が赤錆色に染まり、異臭が漂いました。プランクトンが異常繁殖する「赤潮」という現象で、原因は家庭で洗濯に使われていた有リン合成洗剤でした。生協、婦人会、労働組合などが協力して県民あがてのせっけん利用が進められ、1980年には県内で有リン合成洗剤の販売を禁じる富栄養化防止条例（びわ湖条例）が制定されました。



この運動の担い手の一つ「湖南消費生活協同組合」の中から、1989年に「滋賀県環境生活協同組合」が設立され、環境に特化した市民事業の実践と循環型の地域づくりが進められました。2009年にこの生協を組織改編したのがNPO 碧いびわ湖です。子育て世代を中心に仲間を育みながら、10年にわたって運動と事業を継続しています。



## 【買い物づくり】 心もつながる買い物へ

つくるひと、食べる人、運ぶひと、みんなが笑顔になれる、心の通う買い物づくりに取り組んでいます。牛乳パックをティッシュやロールに、廃食用油をせっけんにとという資源循環の輪も、官民の多様な主体の参加で継続しています。



牛乳パックリサイクルの学習の一環で、紙すきを体験（近江八幡市内の中学校）



株式会社平和堂のオリジナルトイレットペーパー。「集めて使うリサイクル」が実現。



中国の政策変更の影響でゆれる古紙業界にて、あらためて情報交換、価値共有を確かめ合う「関西ミルクロードの会」（総会にて）



お米を共同購入している（農）大戸洞舎（おどふらしゃ）の無農薬栽培の田んぼにコウノトリがやってきました



## ●「一円基金」で学習プログラム開発

みんなで集めた牛乳パックを原料にした「ただいまロール・おかえりティッシュ」の購入代金から積み立てた「一円基金」を活用し、学校での学習プログラムを開発して近江八幡市内の中学校で実施しました。紙すき体験、見学、対話などを交え、体感的に主体的に牛乳パックリサイクルを学べるプログラムができました。



平和堂近江八幡店でのパック回収も体験

## ●「集めて使うリサイクル」が平和堂でも！

滋賀県最大手のスーパー株式会社平和堂は、1990年から牛乳パック回収にご協力いただいています。2019年11月、平和堂で回収した牛乳パックを利用したオリジナルトイレットペーパーが新発売され「集めて使うリサイクル」が平和堂でも実現されました。代金から1巻2円が碧いびわ湖に寄付をされます。紙パックリサイクルの普及・学習活動に活用します。



12月に滋賀グリーン活動ネットワーク主催の三方よしのエコフェアでも牛乳パックリサイクルの体験を出展しました（大津市）

## ●農産物の共同購入を継続

農産物の共同購入を昨年度も引き続き実施しました。（農）大戸洞舎、養生農園、愛のまちエコ倶楽部では気候の影響での減収もありましたが、茗荷村同労舎、村田農産、吉田農園などにご協力いただいで供給を持続できました。京大農薬ゼミの省農薬みかんは XXXXXXXXXX さんが就農2年目。収量がぐんと増えました。



3月に京大農薬ゼミのメンバーと石田先生、大柿さんが安土までお越しくださいました。

## <数字で見る 共同購入事業の成果>

●お米供給量	5,456kg	省農薬みかん供給量	5,495kg
●粉せつけん「びわ湖」供給量	2,409kg	←●廃食用油回収量	9,072L
●液体せつけん「ゆう」供給量	1,522L		
●トイレロール「ただいまロール」等供給量	10,925袋	←●牛乳パック回収量	326,808kg
●ティッシュ「おかえりティッシュ」供給量	4,316袋		

# 【住まいづくり】あるもの活かしみんなで作る

身近な人々と協力し合い、身近な資源や自然の恵みを活かす暮らしのインフラとしての住まいづくりに取り組んでいます。プロの力を借りつつも、人々が主体的に参加し、協力して住まいをしつらえることに取り組んでいます。



クラウドファンディングで傷んでいた和室を改修して開設した「みんなの休憩室」。(改修前と改修後)



障害のある人も暮らす歴史ある住まいの、屋根の修繕工事を行いました(日野町)



グループホームの入浴用にソーラーシステム(太陽熱利用機器)を設置しました(近江八幡市)



## ●近江八幡旧市街地に「みんなの休憩室」

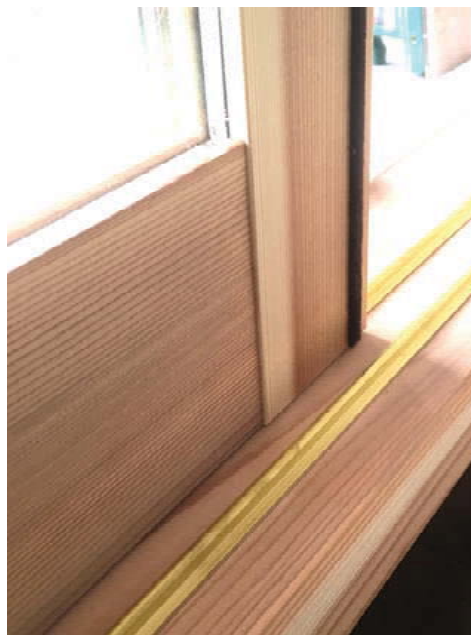
2019年5月に開店した「食堂ヤポネシア」（近江八幡旧市街地内）の奥で傷んでいた6畳間を、赤ちゃんの授乳やおむつがえなどに活用できる「みんなの休憩室」としてクラウドファンディングで整備しました。会員の発案でプロジェクトを立ち上げ、173人の方から114万円をお寄せいただき、改装費用と二年間の借り上げ費を賄うことができました。近江八幡の旧市街地を子連れで街歩きしやすい環境を整えることができました。

## ●古民家の修繕工事も行いました

日野町内にある元近江商人の屋敷の屋根修繕工事を請け負いました。築100年を超えているにもかかわらずとてもきれいな瓦で、部分補修だけで済みました。丁寧に人の手でつくられたものの寿命の長さを実感しました。他にも古民家の改修や維持工事を2件請け負いました。

## ●福祉施設での自然エネルギー設備導入

例年に引き続き、福祉施設での自然エネルギー設備の導入を行いました。近江八幡市内にあるオアシスグループホームさんに、2台のソーラーシステムを設置しました。滋賀県の分散型エネルギーシステム導入加速事業補助金を活用し、実質1/2負担での設置ができました。もともと雨水タンクを設置したり菜園をさめたりしている施設で、さらに環境に調和し、防災上の備えも向上できました。



マンションでの木製サッシの設置も行いました。冷暖房の効率がよくなりました（京都市）



22年前に設置された太陽熱温水器の修繕工事にも対応。無事に継続使用できました。（近江八幡市）

### <数字で見る 住まいづくり事業の成果>

●協同型の建物整備	1件	●修繕・リフォーム	17件
●雨水タンク設置	3件	●太陽熱温水器設置	1件
●木製サッシ設置	1件		



## 【地域づくり】 子どもと湖が笑ってる未来へ

滋賀県内でも、古くからの村落共同体的な慣習が弱まり、個人化・流動化する状況があります。“みんな一緒”というだけでは、なかなか共に行動できなくなっています。いまの時代にあった、子育て世代のつながりづくりを！



守山市のまちなかで、親子でほたるを飛ばす！環境学習クラブ「ルシオールキッズクラブ」がスタートしました。



あおいそらと森のおうちプロジェクト（ASMO）  
——お母さんが笑顔になれる居場所「あすもの日」。



野洲川にて、子どもたちが、川で遊び、学び、育つ活動。  
子育て中のお父さん、お母さんたちと運営しています。



## ●お母さんがホッと一息つける場

碧いびわ湖と、こども園そら（草津）、ちいさいおうちようちえん（守山）、せた森のようちえん（大津・栗東）とのパートナーシップにより進めています。乳飲み子をかかえるお母さんのホッと一息つける場「あすもの日」を定期的で開催しました。

## ●野洲川の川守りをつなぐ

野洲川下流部、守山市中洲学区にて、川守りをつなぐ活動を継続しています。川と人、住民と行政とのつなぎ役。最近では、川遊びに加えて、河道内に生えてくる樹木の伐採や、河川敷での草サッカーもスタート。また、守山市環境学習事業づくりにも参画しています。

## ●科学的なアプローチで小さな自然再生

守山の中心市街地に、ほたるが自生する河川環境をつくるため、株式会社みらいもりやま21とのパートナーシップで、滋賀県立大学の ████████ さんにご指導いただき「小さな自然再生」の考え方にもとづき、川遊び×サイエンス学習を軸に活動しています。滋賀県と野洲市などが共催したフォーラム「集まれ！小さな自然再生」にて活動成果発表を行いました。守山市内で長年つづく、市民によるほたる再生保全活動にも参加しています。



### <おもな事業>

- マザーレイクフォーラム——創発自治プロジェクト
- 滋賀県子ども県議会
- 守山市中心市街地活性化計画（第2期）——川に学ぶプロジェクト
- 川と人、人と人をつなぐ住民コーディネーター（琵琶湖河川事務所）ほか

## 【市民自治】 大切なことを他人任せにしない

ただでさえ、いそがしく、せわしない毎日。そんななかでも、大切なことを他人任せにせず、力をあわせて自分たちでつくりたい。

ひとり一人、ものごとの感じ方や考え方には違いがあって当たり前。

自分のきもちをたいせつに、他者との対話をつづけながら、ともに行動します。



環境レイカーズからバトンをひきついだ「滋賀県子ども県議会」の運営業務。50人の子ども議員や、サポーター、滋賀県子ども・青少年局とともに運営に従事しました。子どもの権利条約にもとづく「子どもの意見表明権」をたいせつに、滋賀県政にも活かしていこうという取り組みです。



「マザーレイクフォーラム」の一環で、創発自治プロジェクト



手づくり市民メディア「あまいろだより」



## ●滋賀県子ども県議会

20年あまりにわたってつづく滋賀県子ども県議会の事業運営に、ご縁あって従事することになりました。「体験から学ぶ、たがいに学ぶ、たのしく学ぶ」という3つの「た」をキーワードに、7月から12月までのおよそ半年間の活動が行われました。



## ●21世紀型せっけん運動をめざして

碧いびわ湖では、琵琶湖の周りに暮らし、事業をおこなう多様な主体が参加、つながるプラットフォームである「マザーレイクフォーラム」の運営に参画してきました。これから、県民、事業者、NPO等の主体的な活動、つながりあいが、より自発的に起こっていく状況を目指して、#つながる清掃活動、BIWAKOトークカフェという活動をスタートさせました。



琵琶湖アローズ



## ●手づくり市民メディア&勉強会

手づくり市民メディア「あまいろだより」が、通算41号をかぞえました。気象変動の影響とも言われる巨大な台風による大きな水害のあとの昨年12月には、Vol.40『川と暮らしとハザードマップ』(特集)を発行。また、「滋賀的 オーガニック が食べたい!」と題して、ゲスト講師を招いた勉強会を2回実施しました。

100円ショップでも売ってる  
除草剤グリホサート。  
ガンになるってホント?  
害になる?  
聞ってるのは腸内細菌と土の中の微生物...



いんやち どもや  
印 鑰 智 哉 さん お話会

テーマ『町の中の農業—世界はどう変わろうとしているのか?』

2019年10月5日(土曜)  
13:30(13:15受付開始) ~ 16:00

場所 草津川跡地公園(区間2) ai 彩ひろば(あいさいひろば)  
にぎわい活動棟「教養室」



### <おもな活動>

- 手づくり市民メディア「あまいろだより」Vol.38~41(年間4回)発行
- あまいろ勉強会「滋賀的 オーガニック が食べたい!」第1~2弾(2回)を開催
- お母さんがホッと一息つける場「あすもの日」を開催(9回)
- コミュニティ・オーガナイズング関西——実践報告会@京都に参加ほか

# 第1号議案 2019年度事業報告

項目	2019年度実績		2018年度実績	前年度比
<b>1. 会員、寄付、利用者数</b>				
会員数				
運営会員	129 名	←	120 名	+ 9 人
賛助会員	46 名	←	38 名	+ 8 人
一般寄付者数	23 名	←	24 名	△ 1 人
個人利用者数	469 人	←	499 人	△ 30 人
個人新規利用者数	55 人	←	118 人	△ 63 人
法人利用者数	117 事業所	←	124 事業所	△ 7 事業所
法人新規利用者数	6 事業所	←	9 事業所	△ 3 事業所
<b>2. 共同購入事業</b>				
地域産食材				
お米供給量	5,456 kg	←	5,248 kg	+ 208 kg
菜種油供給量	132 L	←	197 L	△ 65 L
リサイクル製品				
再生粉せっけん供給量	2,409 kg	←	3,137 kg	△ 728 kg
再生液体せっけん供給量	1,522 L	←	1,902 L	△ 380 L
再生ティッシュ供給数	4,316 袋	←	4,477 袋	△ 161 袋
再生トイレロール供給数	10,925 袋	←	10,467 袋	+ 458 袋
地域資源活用品				
間伐材利用紙 (A4・2500枚)	58 ケース	←	55 ケース	+ 3 ケース
購入拠点箇所	19 箇所	←	19 箇所	0 箇所
<b>3. リサイクル事業</b>				
廃食用油供給量	48,570 kg	←	49,740 kg	△ 1,170 kg
牛乳パック供給量	321,270 kg	←	333,840 kg	△ 12,570 kg
<b>4. 住まいづくり事業</b>				
小型雨水貯留槽設置	3 件	←	3 件	0 件
大型雨水利用システム設置	0 件	←	4 件	0 件
家庭用太陽熱温水器設置	0 件	←	4 件	△ 4 件
法人用太陽熱温水器設置	1 件	←	1 件	0 件
薪ストーブ・ペレットストーブ	0 件	←	3 件	△ 3 件
木製サッシ設置	1 件	←	0 件	+ 1 件
その他	18 件	←	22 件	△ 4 件
<b>5. 地域づくり事業</b>				
地域づくりプロジェクト	5 件	←	2 件	+ 3 件
講師・研修・委員受託	20 件	←	12 件	+ 8 件



特定非営利活動法人 碧いびわ湖

# 年間活動レポート

## 2021年版



子どもと湖が笑ってる未来へ

# 碧いびわ湖

# 力を合わせる 子どもと湖が笑ってる未来へ

今年、「びわ湖の日」40周年。

「子どもたちの未来とびわ湖を守りたい！」の想いを共に  
人々が手を携え、大きなうねりをつくった「せっけん運動」の記念日です。

いま、グレタ＝トゥーンベリさんの行動に勇気づけられ  
気候危機の回避と社会の仕組みの変革（システムチェンジ）への  
世界的な連帯が広がっています。

私たちの暮らす滋賀でも、多くの若者と市民が、  
一人ひとりの足元から、日々の暮らしと経済を変えようと、  
さまざまなチャレンジを始めています。

“しがCO2 ネットゼロ”ムーブメント、マザーレイクゴールズ（MLGs）などの  
県の政策も始まりました。

碧いびわ湖は、世代を超え、立場を超え、人と人が力を合わせて、  
「安心を実感できる暮らし」と「持続可能な社会」、  
そして「命あふれるびわ湖」を  
取り戻す歩みを続けます。





あなたの手、わたしの手、  
そしてこの子の小さな手。  
そのすべてが、未来への希望です。





# 一人ひとりの想いと力を寄せ合って

碧いびわ湖は、「自治」と「協同」によって運営される市民事業体です。一人ひとりの想いと力を持ち寄り、望む暮らしを共に描いて行動し、運動や事業を生み出します。

地域づくり	共同購入・リサイクル	住まいづくり
<p>ホタルが自生する川づくりや環境学習事業（守山市）、マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進（全県）など、人々が助け合い、誰もが未来に安心と希望を抱ける暮らし・社会をつくる「地域づくり事業」を行っています。</p> 	<p>びわ湖とその流域の水と土を守る農産物や間伐材を使った紙製品、リサイクル製品をみんなで購入する「共同購入事業」と、製品の原料となる牛乳パックや廃食用油を多様な人々の協力で集める「リサイクル事業」を行っています。</p> 	<p>ワークショップなどを通じて人々が共に学び、力を合わせ、森の木、雨水、太陽熱など身近な自然を生かす住まいをつくる「住まいづくり事業」を行っています。子育てと暮らしを共にするコミュニティ住宅にも取り組んでいます。</p> 
市民自治・政策提言		
<p>市民メディア「あまいろだより」の発行や、子育て中のお母さんがほっとできる場「あすもの日」の運営など、一人ひとりの想いと力を持ち寄り、目指す暮らしに向けて力を合わせる「市民自治」をしています。気候変動や琵琶湖や教育などに関して、多様な市民が学び合い、行政や企業などにはたらきかける「調査研究・政策提言事業」もを行っています。</p>		

## はじまりは、琵琶湖のせっけん運動でした

1977年5月、琵琶湖の湖面が赤錆色に染まり、異臭が漂いました。プランクトンが異常繁殖する「赤潮」という現象で、洗濯に使われていた有リン合成洗剤がその原因でした。生協、婦人会、労働組合などが協力してせっけんの使用が進められ、1980年には県内で有リン合成洗剤の販売を禁じる富栄養化防止条例（びわ湖条例）が制定されました。



せっけん運動の一翼を担った「湖南消費生活協同組合」の中から、1989年に「滋賀県環境生活協同組合」が設立され、環境に重点を置いた市民事業と地域づくりを行いました。2009年、この生協の事業を継承して生まれたのがNPO 碧いびわ湖です。子育て世代を中心に、40年以上にわたる運動と事業を継続しています。

## 【市民自治】 大切なことを他人任せにしない

世界は、気候変動という大きな問題に直面しています。琵琶湖でも、2年連続、全層循環が観察されないということが生じ、「予想以上に早くにこうしたことが起きた」と指摘されました。自然の生態系や、人間社会の活動は、さまざまな要因が相互に作用しあっていて、とても複雑でわかりにくい状況になっています。身近な人と信頼関係をつむぐこと。またすこし広く、違いを認め合ってつながり、ともに行動することが力になります。



2020年9月、世界危機アクションにあわせ、石山駅前で多くの方々とともにアピール



あまいろだより vol.44 「家もエネルギーも自給する」



お母さんがホッと一息つける場「あすもの日」



## ●手作り市民メディア「あまいろだより」

有志メンバーでつくる「あまいろ探偵団」(5人)で、毎回、多彩なゲストとともに対話し、記録・編集している手作り市民メディア「あまいろだより」を3回発行しました。また、3月には湖南市内の小学校にて「ミツロウラップづくり」の出前授業を行いました。



小学校での出前授業の様子

## ●ホッとひと息つける場「あすもの日」

碧いびわ湖と、こども園そら(草津)、ちいさいおうちようちえん(守山)、せた森のようちえん(大津・栗東)とのパートナーシップにより進めています。乳飲み子をかかえるお母さんのホッと一息つける場「あすもの日」を7回開催しました。



Instagram@asmo shiga 情報発信中

## ●気候危機アクション・ネットワーク

滋賀県に気候非常事態宣言を求める請願を出された人や、Fridays For Future Shigaの若者たちとともに、9月には世界気候危機アクションin石山駅前に参加し、県議会で全会一致で請願が採択された後、滋賀県知事との対話の場にも参加しています。



知事との対話(2020年11月)

## ●マザーレイクフォーラム——創発自治PJ

マザーレイクフォーラムの計画最終年度にあたり、つぎの10年に向けて、オンラインでの対話を含め、さまざまな主体と連携した企画、活動に参画しました。2021年7月には、新たな仕組みとして、MLGs(マザーレイクゴールズ)が策定される見通しです。



「BIWAKOトークカフェ Vol.2 つながる清掃活動〈釣り人×バードウォッチャー〉」

### <おもな活動・事業>

- 手づくり市民メディア「あまいろだより」Vol.42~44(3回)発行
  - 出前授業「ミツロウラップづくり」湖南市内の小学校にて(1回)を開催
  - お母さんがホッと一息つける場「あすもの日」を開催(7回)
  - 世界気候危機アクションin滋賀に参画し、三日月滋賀県知事との対話に参加(3回)
  - マザーレイクフォーラム——創発自治プロジェクトに参画・連携(6回)
- ほか

## 【地域づくり】 子どもと湖が笑ってる未来へ

最近よく、「いまの時代は、あらゆる環境が目まぐるしく変化し、将来に対する予測がつかない」と言われます。世界では、気候変動を緩和するために経済社会をシステムチェンジできるのか、あるいは、気候変動がもたらす未曾有の出来事にいかに適応するのか。他方で、国内では人類が未だ経験したことのないペースでの人口減少が進んでいます。

未来を生きる子どもたちに、私たちはなにを手渡せるでしょうか。

子どもたちが、幼少期から身近な自然環境で、異年齢を含む集団のなかで思う存分に遊ぶことができる機会を増やそうと取り組んでいます。困難な状況にあっても、仲間とともにたくましく生き抜く力を育みたいのです。



滋賀県立大学の■■■■さんが、京都大学防災研究所と行う共同研究に参加し、守山市にあるあまが池プラザにて、防災×環境学習を行いました。流れる水の動きを目の前で手に取るように再現してくれるジオモデルを使った学習。



25名の子も議員の意見表明をサポート



野洲川下流部（守山市）での川遊び・環境学習



## ●滋賀県子ども県議会

昨年度につづき、滋賀県の事業を受託し、運営にあたりました。県内のネットワークでつながる、さまざまな専門分野の大人にゲストに来ていただき、子ども議員との話し合いも実施しました。

## ●親子でほたるを飛ばす！環境学習クラブ

(株)みらいもりやま 21 (守山のまちづくり会社) とともに 2016 年より取り組んでいるほたるが自生する河川環境づくりを継続しています。親子による環境学習クラブ「ルシオール・キッズ・クラブ」で、11月に開催された「キャンパス SDGs びわ湖大会」(滋賀県立大学)にオンライン参加しました。

## ●野洲川で遊ぶの大好き！クラブチーム

琵琶湖河川レンジャー制度にもとづき、野洲川下流部にて川と人、住民と行政をつなぐ住民コーディネーター活動を継続しています。

野洲川で川遊びを行うとともに、河川清掃活動も行いました。また、10人乗りカヌーを活用した環境学習もはじまりました。地元の自治会と連携した保全活動にも参画しています。

他方、守山市環境学習事業推進委員会にも参画し、多くの住民や団体、企業、公的機関のみなさんと活発に語り合い、守山市の新たな環境学習事業のメニューづくりを行いました。

### <おもな活動>

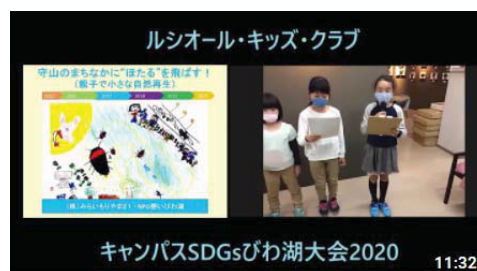
- 滋賀県子ども県議会 (9~12月)
- 親子でほたるを飛ばす！「ルシオールキッズクラブ」(川に学ぶプロジェクト)
- 滋賀県立大学瀧健太郎研究室・京都大学防災研究所共同研究 (参加協力)
- 川と人、人と人をつなぐ住民コーディネーター (琵琶湖河川事務所) ほか



ゲストを迎えての第2回活動の様子



守山のまちなかにある「あまが池親水緑地」での小さな自然再生の活動の様子



Youtubeで発表の様子を配信しています



野洲川では、カヌー(Eボート)をつかった活動もはじまりました！



# 【住まいづくり】 学び、つながる 住まいづくり

循環型の住まいを、学びながらつくる活動に取り組みました。プロの指導のもと、子どもたちの手で基礎から東屋をつくるワークショップにもチャレンジ。新たな可能性が拓かれました。



あさがら野 子どもと自然舎（栗東市）での東屋づくりワークショップ。掛矢の音がコーンコーンと森に響きました。



基礎の穴掘りやコンクリートも子どもたちの手で。



屋根もみんなでトントンカンカン、はりました。



## ●子どもたちの手で東屋づくり！

2020 年秋、栗東市のあさがら野 子どもと自然舎で、子どもたちの手による東屋づくりに初チャレンジ。プロの指導と、多くの大人の見守りの中、基礎の穴掘りとコンクリートの流し込みから屋根の板金まで、すべてを子どもたちがやり遂げました。年長の子たちが学んだことを、年下の子どもたち一人一人に合わせてで教える様を目にして、子どもたちには「学ぶ力」だけでなく「教える力」が豊かにあることを実感しました。

## ●「あまみちのデザイン」ワークショップも

雨水タンクの設置もワークショップで行い、学びの機会としました。地球規模からタンクの規模まで共通する水の動きや、暮らしの中での水の用途や使用量を振り返ったうえで、どこにタンクを置くのがいいのか、容量はどのくらいがいいのか、などを、みんなで考えて設置しました。竹藪での野外活動用の雨水タンクの設置も行いました。

## ●コミュニティ住宅づくりに向けた関係構築

人々がエコロジカルな子育てや暮らしを共にできるコミュニティ住宅の実現に向け、日野町内で人びとの関係構築とリサーチを進めました。空き家のオーナー、近隣住民の方々、移住希望者、町役場担当者、コーポラティブハウスの運営者などからお話を伺ったり現地訪問を重ねて、次年度以降の事業実現に向けた人的ネットワークと知見を蓄積しました。



個人宅での雨水タンク設置ワークショップ  
(近江八幡市内)



竹藪での雨水タンク設置ワークショップ  
(京都府向日市)



移住希望者、移住経験者、空き家所有者、行政職員が会しての座談会（日野町）

### <数字で見る 住まいづくり事業の成果>

●雨水タンク設置	6件	●太陽熱温水器設置	2件
●リフォーム・部分修繕等	22件		

# 【共同購入・リサイクル】 つながり、つづける

長年続けている共同購入とリサイクル事業を、今年も継続しました。新型コロナウイルスの影響下でも、多くの方々と事業者さんが参加を継続くださっています。



開催ミルクロードの仲間、みんなの労働文化センター（尼崎市）の永岡亮さんが碧いびわ湖をお訪ねくださいました。

## ●関西ミルクロードの会のこれから

牛乳パックの回収と、「おかえりティッシュ」& 「ただいまロール」の供給の仲間である関西ミルクロードの会のみなさんと、活動を活性化して仲間を広げるための方策を、オンラインも活用して議論し、交流を深めました。この成果をもとに、今後、具体的な取り組みを進めていく予定です。

## ●心温まる味噌づくり

大津市のえくぼ保育園では、長浜の大戸洞舎のお米を給食にお使いいただいています。この冬には大豆も購入され、年長さんたちがかまどでの味噌づくりにチャレンジしました。お味噌ができる頃には小学生だから自分は食べられないけど、小さい子たちのためにと一生懸命、薪をくべてつくったそうです。♡

## <数字で見る 共同購入・リサイクル事業の成果>

●お米供給量	5,530 kg	省農薬みかん供給量	5,035 kg
●粉せっけん「びわ湖」供給量	2,279 kg	←●廃食用油回収量	5,358 L
●液体せっけん「ゆう」供給量	1,020 L		
●トイレロール「ただいまロール」等供給量	10,243 袋	←●牛乳パック回収量	367,563 kg
●ティッシュ「おかえりティッシュ」供給量	3,633 袋		



2021年7月1日

マザーレイクゴールズ (MLGs) がはじまります！



# Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

1 清らかさを 感じる水に	2 豊かな魚介類を 取り戻そう	3 多様な生き物を 守ろう	4 水辺も湖底も 美しく	5 恵み豊かな 水源の森を 守ろう
6 森川里湖海の つながりを 健全に	7 びわ湖のためにも 温室効果ガスの 排出を減らそう	8 気候変動や 自然災害に 強い暮らしに	9 生業・産業に 地域の資源を 活かそう	10 地元も流域も 学びの場に
11 びわ湖を楽しみ 愛する人を 増やそう	12 水とつながる 折り暮らしを 次世代に	13 つながりあって 目標を達成しよう		

びわ湖の日 20 周年の 2001 年に、滋賀県は市民参画型の琵琶湖の保全再生計画「マザーレイク 21 計画」を策定しました。碧いびわ湖も 2009 年から参画してきたこの事業を継承し、びわ湖の日 40 周年となる今年、新たにマザーレイクゴールズ (MLGs) が始まります。

碧いびわ湖は今年、この MLGs の推進事業の事務局を担うことにもなりました。学生～20 代の若者たちの参画も得て、人びとの行動と協力を生み出し、琵琶湖とその流域の自然環境を豊かに守り生かしていける暮らしと自治を、育んでいきたいと思ひます。

スタートは 7 月 1 日、びわ湖の日。ご参画とご協力のほど、よろしくおねがいたします！

# 第1号議案 2020年度事業報告

項目	2020年度実績		2019年度実績	前年度比
<b>1. 会員、寄付、利用者数</b>				
会員数				
運営会員	114 名	←	112 名	+ 2 人
賛助会員	48 名	←	49 名	△ 1 人
一般寄付者数	45 名	←	23 名	+ 22 人
個人利用者数	446 人	←	469 人	△ 23 人
個人新規利用者数	56 人	←	55 人	+ 1 人
法人利用者数	105 事業所	←	117 事業所	△ 12 事業所
法人新規利用者数	8 事業所	←	6 事業所	+ 2 事業所
<b>2. 共同購入事業</b>				
地域産食材				
お米供給量	5,530 kg	←	5,456 kg	+ 74 kg
菜種油供給量	116 L	←	132 L	△ 16 L
リサイクル製品				
再生粉せっけん供給量	2,279 kg	←	2,409 kg	△ 130 kg
再生液体せっけん供給量	1,020 L	←	1,522 L	△ 502 L
再生ティッシュ供給数	3,633 袋	←	4,316 袋	△ 683 袋
再生トイレロール供給数	10,243 袋	←	10,925 袋	△ 682 袋
地域資源活用品				
間伐材利用紙 (A4・2500枚)	39 ケース	←	58 ケース	△ 19 ケース
購入拠点箇所	19 箇所	←	19 箇所	0 箇所
<b>3. リサイクル事業</b>				
廃食用油供給量	41,130 kg	←	48,570 kg	△ 7,440 kg
牛乳パック供給量	378,410 kg	←	321,270 kg	+ 57,140 kg
<b>4. 住まいづくり事業</b>				
コミュニティ住宅整備事業	0 件	←	0 件	0 件
小型雨水貯留槽設置	2 件	←	3 件	△ 1 件
大型雨水利用システム設置	4 件	←	0 件	0 件
家庭用太陽熱温水器設置	1 件	←	0 件	+ 1 件
法人用太陽熱温水器設置	1 件	←	1 件	0 件
薪ストーブ・ペレットストーブ	0 件	←	0 件	0 件
木製サッシ設置	0 件	←	1 件	△ 1 件
その他	22 件	←	18 件	+ 4 件
<b>5. 地域づくり事業</b>				
地域づくりプロジェクト	5 件	←	5 件	0 件
講師・研修・委員受託	20 件	←	20 件	0 件



特定非営利活動法人 碧いびわ湖

# 年間活動レポート

## 2022年版



子どもと湖が笑ってる未来へ

碧いびわ湖

# 力を合わせる 子どもと湖が笑ってる未来へ

「子どもと湖が笑ってる未来へ」を掲げ、  
碧いびわ湖が旧環境生協の事業を継承してから 13 年。  
子どもたちがのびのびと育つことのできる  
ほんとうに豊かな暮らしが、滋賀の各地で紡がれています。

一方、社会全体では分断と孤立が深まりつつあります。  
日本では、学校に通えなくなる子ども、自ら命を断つ子どもも増えています。  
世界でも、紛争、経済格差、環境汚染、気候危機などで、  
多くの子どもが心身に傷を負い、命を落としたりしています。

あらためて今、  
身近な自然、身近な人々、そして自分自身としっかりつながりあい、  
根っこのある「安心」を育んでいくことが大切だと思います。

今年度も、一人ひとりができることを見つけ合い、力を寄せ合い、  
自由で、持続可能で、平和な暮らしをつくっていかうと思います。  
碧いびわ湖の活動へのご参加、ご協力のほど、  
よろしくお願いいたします。

2022 年 5 月





代表理事 村上 悟





# 一人ひとりの想いと力を寄せ合って

碧いびわ湖は、自治と協同によって運営される市民事業体です。一人ひとりの想いと力を寄せ合い、望む暮らしを共に描き、行動し、運動や事業を生み出します。

地域づくり	共同購入・リサイクル	住まいづくり
<p>ホタルが自生する川づくりや環境学習事業（守山市）、マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進（滋賀県）など、人々が助け合い、誰もが未来に安心と希望を抱ける暮らし・社会をつくる「<b>地域づくり事業</b>」を行っています。</p> 	<p>びわ湖とその流域の水と土を守る農産物や間伐材を使った紙製品、リサイクル製品をみんなで購入する「<b>共同購入事業</b>」と、製品の原料となる牛乳パックや廃食用油を多様な人々の協力で集める「<b>リサイクル事業</b>」を行っています。</p> 	<p>共に学び、力を合わせ、森の木、雨水、太陽熱など身近な自然を生かす住まいをつくる「<b>住まいづくり事業</b>」を行っています。子育てと暮らしを共にするコミュニティ住宅づくりにも取り組んでいます。</p> 
市民自治・政策提言		
<p>会員交流会の開催や、市民メディア「あまいろだより」の発行など、一人ひとりの想いと力を持ち寄り、目指す暮らしに向けて力を合わせる「<b>市民自治</b>」をしています。琵琶湖の環境政策や子どもたちの育ちなどについて、市民が学び合い、議論し、行政や企業などにはたらきかける「<b>調査研究・政策提言事業</b>」もを行っています。</p>		

## はじめりは、琵琶湖のせっけん運動でした

1977年5月、琵琶湖の湖面が赤錆色に染まり、異臭が漂いました。プランクトンが異常繁殖する「赤潮」という現象で、洗濯に使われていた有リン合成洗剤がその原因でした。生協、婦人会、労働組合などが協力してせっけんの使用が進められ、1980年には県内で有リン合成洗剤の販売を禁じる富栄養化防止条例（びわ湖条例）が制定されました。



せっけん運動の一翼を担った「湖南消費生活協同組合」の中から、1989年に「滋賀県環境生活協同組合」が設立され、環境に重点を置いた市民事業と地域づくりを行いました。2009年、この生協の事業を継承して生まれたのがNPO 碧いびわ湖です。子育て世代を中心に、40年以上にわたる運動と事業を継続しています。



## 【地域づくり】 MLGs 推進事業がスタート

2010年から参画してきたマザーレイクフォーラムの活動を継承発展した、滋賀県の「マザーレイクゴールズ（MLGs）推進事業」を受託しました。多様な主体の参画と連携づくり、新たな参加者の開拓に取り組みました。



守山市立図書館の横の目田川にて「環境活動 × 探求学習」



ヴォーリスの森にて「自然の中でのまなび café」



「お試し漁師体験」でヒウオ漁を体験



## ●MLGs コラボワークショップを開催

さまざまな団体・組織が連携・協力する、コラボワークショップを開催しました。

- ・ MLGs アクションゲーム in 五箇荘小学校
- ・ MLGs アクションゲーム in 守山北高校
- ・ 「西の湖環境スタディーツアー×自然の中でのまなび cafe」@ヴォーリズの森
- ・ オンライントークサロン《水源の森 編》～知りたい！語りたい！森とつながる暮らしの魅力って？
- ・ 環境活動 × 探求学習 in 目田川 ～守山市図書館横やすらぎ広場 あつまれ！ みんなの川づくり～

ほか

## ●お試し漁師体験&若手トーク

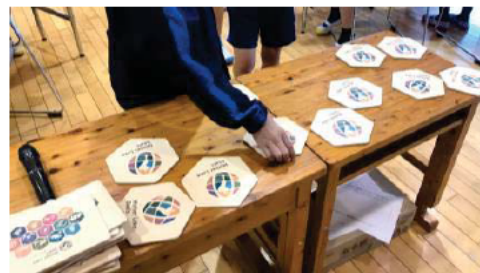
志賀町漁協の若手漁師、XXXXXXXXXXさんとそのお仲間の協力のもと、「ヒウオ漁」体験と調理体験を開催しました。実際に湖上に浮かび、網を曳き、体で感じて初めてわかることがたくさんありました。

また、その日の動画を鑑賞し、若手の漁師や学生さんのお話を聞くオンライン交流会も開催しました。漁業の面白さ、同じ琵琶湖でも地域によって魚種や漁法も異なることなど、とても興味深い会でした。

## ●持続可能な住まいのオンライントーク

建築士のXXXXXXXXXXさん、愛のまちエコ倶楽部のXXXXXXXXXXさんなどの参画により、2回シリーズで「持続可能な住まい」に関するオンライントークを開催しました。

「持続可能性」にも、木で長寿命な家を建てること、断熱性能を高めることなど、さまざまな視点がありました。また、施主と工務店・設計士の間での相互理解と信頼関係の醸成が、持続可能な住まいづくりにおいても重要であることが浮かび上がりました。



MLGs アクションゲーム



西の湖環境スタディーツアー



オンライントークサロン《水源の森 編》



持続可能な住まいのオンライントーク



詳しくは「MLGs WEB」の記事でお読みいただけます →  
なお MLGs に賛同するとメルマガで情報が届きます





# 【地域づくり】 子どもの学びの環境づくり

“幼児期から自然のなかで、友だちといっしょに夢中になって遊ぶ”

この経験がたくましく生きぬくために圧倒的にたいせつです!!

身近な自然環境において遊び・学びの環境づくりをすすめています。



畑がつなくコミュニティ・ネットワーキング



幼児からの川遊び



中高生によるまちの話題発信



## ●親子でほたるを飛ばす！環境学習クラブ

(株)みらいもりやま21(守山のまちづくり会社)とともに運営している環境学習クラブ「ルシオール・キッズ・クラブ」では、ほたるが自生できる川づくりを継続しています。

## ●野洲川で遊ぶの大好き！クラブチーム

野洲川をフィールドした環境学習クラブ「なかす野洲川たんけん隊」の活動や、幼児の川遊びをサポートしています。

## ●守山市環境学習事業

守山市環境学習都市宣言(2017)にもとづき、守山市環境学習事業推進委員会に参画し、地域の方々とともに計画づくりを進めてきました。2021年4月に、もりやまエコパークがオープンし、環境学習事業がスタートしました。

碧いびわ湖では、子連れ親子を対象とした「畑がたなぐコミュニティ・ネットワーキング」と、「中高生によるまちの話題発信」の2つのプログラムの運営にあたりました。

JAレーク滋賀営農経済戦略部のご協力をいただき、プランターで野菜づくりを行っています。

また、中高生たちと「すとりーている」、「ビワコパールズサプライズ」、「淡海を守る釣り人の会」、「ほたるの森資料館」、「河西いちご園」を取材し動画制作しました。

### <おもな活動>

- 親子でほたるを飛ばす！「ルシオールキッズクラブ」(川に学ぶプロジェクト)
- 野洲川が大好きなクラブチーム「なかす野洲川たんけん隊」
- 中洲こども園、小津こども園、中洲小学校、三上小学校、野洲小学校での学習活動(川遊び含む)
- 守山市環境学習事業「畑がたなぐコミュニティ・ネットワーキング」「中高生によるまちの話題発信」

ほか



守山のまちなかにある「あまが池親水緑地」での小さな自然再生の活動の様子



守山市長にほたるを飛ばすための方策を手紙にしてお渡ししました(昨年10月)



野洲川では、カヌー(Eポート)をつかった活動もはじまりました!



もりやまエコパークのおいしい庭にて

# 【地域づくり】 子ども・若者の声と力を活かす

自分の想いや意見を大人たちがしっかり受け止め、共に考え行動してくれる経験が、子どもと若者の、社会への信頼と希望を育みます。子どもと若者の想いと力を活かす活動に取り組みました。



子ども県議会が滋賀県議会議場にて開催されました



子ども議員たちが真剣に話し合う様子



滋賀県のCO<sub>2</sub>ネットゼロに関するシンポジウムに若者たちが登壇して意見を述べました



## ●子ども県議会

3年目となる滋賀県子ども県議会開催事業を受託して運営しました。子ども議員からの等身大の真剣な意見提案がなされました。(右のQRコードからウェブサイトへ)



滋賀県子ども県議会のサイトで、子ども議員からの提案等がご覧いただけます。

## ●CO2 ネットゼロを考える次世代WS

■■■■さんら Friday For Future Shiga の若者たちと共に、滋賀県の CO<sub>2</sub> ネットゼロを考える次世代ワークショップを受託し実施しました。気候変動問題と市民活動に長く関わられている■■■■さんにスタッフに加わっていただいで伴走し、若者たち自身が5回のワークショップを企画実施したり、滋賀県のシンポジウムで発表をしたり、若者向けの気候変動問題に関するデジタルブックレットを作成したりしました。



(右のQRコードからご覧いただけます)

共に事業をすすめる中で、若者たちの危機感と想い、そして可能性を共有しました。

## ●学びのマナビバ

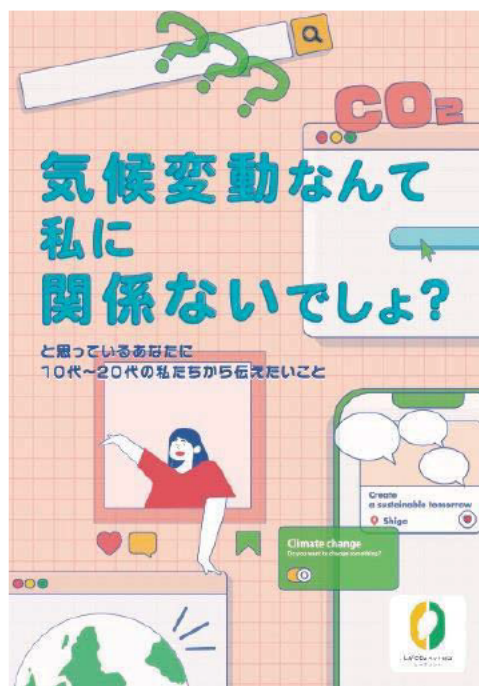
昨年9月から10月にかけて、子どもの育ちと学びについて学び合い語り合う「学びのマナビバ」を4回にわたって開催しました。

フリースクール、森のようちえん、自然体験の実践者と保護者、学校の地域連携に関わっている方、海外での通学経験者など、多様な人々が集い、現状や経験、課題と可能性を共有しました。

子どもたちの不登校が増加していること背景にある社会と学校の状況と、これから必要な取り組むべきことについて、理解を共有しました。



CO<sub>2</sub> ネットゼロを考える次世代ワークショップをオンラインで開催



ワークショップに参加した若者たちが作成したパンフレットの表紙



「学びのマナビバ」をオンラインで4回開催

## 【共同購入・リサイクル】 つながりの環を次世代へ

使用済み揚げ油を回収してリサイクルせっけんとして供給する、牛乳パックを回収してリサイクルティッシュ・ロールとして供給する、といった「循環」「つながり」を実感できるリサイクル事業と共同購入事業を続けています。2021年度は、その活動を次世代へとつないでいく活動を行いました。



おかえりティッシュとただいまロールのパッケージをリニューアル



安土小学校での牛乳パックリサイクルの学習の様子



液体せっけん「ゆう」の量り売りをスタート  
(くさつ Farmer's Market にて)



## ●おかえり&ただいま をリニューアル

関西ミルクロードの会の統一ブランド「おかえりティッシュ」と「ただいまロール」のパッケージをリニューアルしました。これまでの温かみを引き継ぎつつ、より洗練されたデザインに。ティッシュはプラスチックフィルムを外し、ロールは10m長くなりました。

## ●平和堂イベントでの紙漉き体験

株式会社平和堂のオリジナルロールの販売益からいただいた寄付金を活用し、平和堂のビバシティ彦根で紙漉き体験を実施しました。これまで培ったノウハウを活かしつつ、若い世代の方々にも参加いただき、にぎやかな体験ができました。

## ●牛乳パックリサイクルを学ぶ（安土小）

近江八幡市立安土小学校の3年生と学習を行いました。安土では、フレンドマート安土店（店頭回収）やきぬがさ作業所（回収作業や紙すき）、成和商事（古紙回収）、碧いびわ湖などが連携して、住民によるリサイクル活動がつけられていることを体験を通して学んでもらいました。

## ●液体せっけん「ゆう」の量り売り開始

精製した使用済み揚げ油から手づくりしているキッチン液体せっけん「ゆう」の量り売りを開始しました。くさつファーマーズマーケットでの販売に加えて、甲賀市のBIWAKO ZERO WASTEさんのエシカルshopでも開始。せっけんの使い方講座も実施しました。



平和堂ビバシティ彦根での紙漉きイベント



BIWAKO ZERO WASTE さんのエシカルshopで量り売りを始めてくださいました



ゆうの製造責任者の[ ]さんによるせっけんの使い方講座も実施

### <数字で見る 共同購入・リサイクル事業の成果>

●お米供給量	5,127 kg	省農薬みかん供給量	4,900 kg
●粉せっけん「びわ湖」供給量	2,244 kg	●廃食用供給量	36,400 L
●液体せっけん「ゆう」供給量	872 L	●牛乳パック供給量	378,310 kg
●トイレロール「ただいまロール」等供給量	11,046 袋		
●ティッシュ「おかえりティッシュ」供給量	5,788 袋		

# 第1号議案 2021年度事業報告

項目	2021年度実績		2020年度実績	前年度比
<b>1. 会員、寄付、利用者数</b>				
会員数				
運営会員	103名	←	114名	△11人
賛助会員	55名	←	48名	+7人
一般寄付者数	33名	←	45名	△12人
個人利用者数	429人	←	446人	△17人
個人新規利用者数	74人	←	56人	+18人
法人利用者数	96事業所	←	105事業所	△9事業所
法人新規利用者数	3事業所	←	8事業所	△5事業所
<b>2. 共同購入事業</b>				
地域産食材				
お米供給量	5,127kg	←	5,530kg	△403kg
菜種油供給量	97L	←	116L	△19L
リサイクル製品				
再生粉せっけん供給量	2,244kg	←	2,279kg	△35kg
再生液体せっけん供給量	872L	←	1,020L	△148L
再生ティッシュ供給数	5,788袋	←	3,633袋	+2,155袋
再生トイレロール供給数	11,046袋	←	10,243袋	+803袋
地域資源活用品				
間伐材利用紙(A4・2500枚)	35ケース	←	39ケース	△4ケース
購入拠点箇所	21箇所	←	19箇所	+2箇所
<b>3. リサイクル事業</b>				
廃食用油供給量	36,400kg	←	41,130kg	△4,730kg
牛乳パック供給量	378,310kg	←	410,230kg	△31,920kg
<b>4. 住まいづくり事業</b>				
コミュニティ住宅整備事業	0件	←	0件	0件
小型雨水貯留槽設置	1件	←	2件	△1件
大型雨水利用システム設置	0件	←	4件	0件
家庭用太陽熱温水器設置	2件	←	1件	+1件
法人用太陽熱温水器設置	0件	←	1件	△1件
薪ストーブ・ペレットストーブ	0件	←	0件	0件
木製サッシ設置	0件	←	0件	0件
その他	12件	←	22件	△10件
<b>5. 地域づくり事業</b>				
地域づくりプロジェクト	7件	←	5件	+2件
講師・研修・委員受託	16件	←	20件	△4件



# 第2号議案 2019年度活動決算

## 1. 活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

科目	2019年度実績	2018年度実績	前年度比	備考
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費				
運営会員受取会費	132,000	147,000	△ 15,000	運営会費 1,000円×132口
賛助会員受取会費	111,000	129,000	△ 18,000	賛助会費 3,000円×37口
2. 受取寄付金				
一般寄付	250,792	789,333	△ 538,541	寄付28件
事業指定寄付	1,159,500	36,000	+ 1,123,500	みんなの休憩室クラウドファンディング
3. 受取助成金	1,150,000		+ 1,150,000	琵琶湖創発自治プロジェクト 牛乳パックリサイクル学習
4. 受取補助金		463,000	△ 463,000	
5. 事業収益				
A. 共同購入事業	20,107,727	20,009,911	+ 97,816	トイレトペーパー、ティッシュ、 せっけん、お米、みかん等
B. リサイクル事業	12,217,498	12,222,667	△ 5,169	牛乳パック、廃食油、アルミ缶
C. 住まいづくり事業	10,275,102	9,969,572	+ 305,530	リフォーム工事、太陽熱温水器工 事等
D. 地域づくり事業	2,854,044	2,191,384	+ 662,660	守山ほたる再生プロジェクト、マ サ・レイクフォーラム運営補助 等
E. その他事業	525,856	524,612	+ 1,244	合併浄化槽管理維持指導料等
6. その他収益				
受取利息	1,282	1,238	+ 44	
その他収入	42,764	260,102	△ 217,338	
経常収益計	48,827,565	46,743,819	+ 2,083,746	
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費				
①事業原価	28,179,071	26,620,883	+ 1,558,188	商品原価、原材料、作業委託料等
②人件費	12,180,507	11,565,768	+ 614,739	※次頁参照
③その他経費	8,604,820	7,818,968	+ 785,852	※次頁参照
事業費計	48,964,398	46,005,619	+ 2,958,779	
経常費用計	48,964,398	46,005,619	+ 2,958,779	
<b>当期経常増減額</b>	△ 136,833	738,200	△ 875,033	
<b>III. 経常外収益</b>	0	0	0	
<b>IV. 経常外費用</b>	0	9,522	△ 9,522	
<b>当期正味財産増減額</b>	△ 136,833	728,678		
<b>前期繰越正味財産額</b>	7,159,921	6,431,243		
<b>次期繰越正味財産額</b>	7,023,088	7,159,921		(設立時寄付 3,129,780円含む)

《人件費及びその他経費内訳》

科目	2019年度実績	2018年度実績	前年度比	備考
人件費				
役員報酬	3,239,000	3,130,000	+ 109,000	常勤役員報酬・賞与
給料手当	5,546,000	5,360,000	+ 186,000	常勤職員給与・賞与
雑給	1,210,134	985,244	+ 224,890	アルバイト賃金
法定福利費	1,447,435	1,385,727	+ 61,708	社会保険料
福利厚生費	737,938	704,797	+ 33,141	職員通勤費、共済掛金等
人件費計	12,180,507	11,565,768	+ 614,739	
その他経費				
会員活動費	1,011,278	515,054	+ 496,224	みんなの休憩室プロジェクト、あまいろ探偵団 活動費等
旅費交通費	171,625	182,089	△ 10,464	出張旅費、有料道路代金、理事交通費等
通信費	156,978	144,946	+ 12,032	電話、FAX、インターネット、切手等
会議費	8,907	4,000	+ 4,907	総会・理事会会場費等
減価償却費	0	262,025	△ 262,025	
地代家賃	1,998,000	1,972,800	+ 25,200	事務所・倉庫家賃
保険料	306,970	279,370	+ 27,600	自動車保険料等
委託費	436,866	0	+ 436,866	データベース改良費（軽減税率対応）
修繕費	0	12,053	△ 12,053	
水道光熱費	123,790	146,298	△ 22,508	事務所電気代、水道代、灯油代等
車両運搬費	1,128,025	1,280,849	△ 152,824	車両燃料代、車検・整備代、タイヤ代等
消耗品費	107,182	136,107	△ 28,925	消耗資材
租税公課	1,170,080	968,060	+ 202,020	消費税、車両重量税、印紙税等
荷造運賃	696,334	796,576	△ 100,242	商品送料、郵送代金等
事務用品費	666,258	461,328	+ 204,930	コピー代、輪転機費用、事務用品等
広告宣伝費	539	5,871	△ 5,332	サンプル品
支払手数料	462,264	445,072	+ 17,192	振込手数料、販売手数料、情報処理手数料等
諸会費	67,000	127,000	△ 60,000	滋賀グリーン活動ネットワーク、リサイクルせっけん協会等
貸倒引当金繰入	18,000	7,091	+ 10,909	
雑損失	2,340	0	+ 2,340	
法人税等	72,384	72,379	+ 5	法人税、住民税及び事業税
その他経費計	8,604,820	7,818,968	+ 785,852	



## 2. 貸借対照表

2020年3月31日現在

科目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	364,982	
預金	15,514,152	
供給未収金	3,784,016	
商品	2,161,144	
貯蔵品	36,676	
前払費用	194,400	
未収金	2,765,042	
貸倒引当金	△ 71,000	
流動資産合計		24,749,412
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1	
(2) 投資その他資産		
出資金	62,000	
敷金	180,000	
預託金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		25,002,723
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	4,041,634	
未払費用	594,644	
前受金	291,627	
預り金	164,430	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	655,100	
流動負債合計		5,819,635
2. 固定負債		
長期借入金	10,000,000	
碧いびわ湖基金借入金	1,560,000	
退職給付引当金	600,000	
固定負債合計		12,160,000
負債合計		17,979,635
III. 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		7,159,921
当期正味財産増加額		△ 136,833
正味財産合計		7,023,088
負債及び正味財産合計		25,002,723

### 3. 財産目録

2020年3月31日現在

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金		
現金手許有高	364,982	
(2) 預貯金		
① 普通預金		
滋賀銀行 安土支店	3,295,186	
" "	212,063	
グリーン近江農協 安土支店	8,520	
近畿労働金庫 八日市支店	335,933	
② 郵便振替		
大阪貯金局事務センター	139,317	
③ 定期預金		
滋賀銀行 安土支店	10,773,023	
④ 定期積立		
滋賀銀行 安土支店	150,000	
滋賀銀行 安土支店	600,110	
(3) 供給未収金	3,784,016	
(4) 商品	2,161,144	
(5) 貯蔵品		
包装資材等	36,676	
(6) 前払費用		
翌年度4月分家賃	194,400	
(7) 未収入金		
委託事業等	2,765,042	
(8) 貸倒引当金		
当期繰入額	△ 71,000	
流動資産合計		24,749,412
2. 固定資産		
(1) 車両運搬具		
廃食用油回収用軽トラック	1	
(1) 出資金		
① せっけんの街共有者の会	50,000	
③ リサイクルせっけん協会	12,000	
(2) 敷金		
家賃敷金	180,000	
(3) 預託金		
自動車リサイクル料金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		25,002,723



科 目	金 額		
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 買掛金	4,041,634		
(2) 未払費用			
① みんなの休憩室家賃	156,000		
② ㈲大野石油	66,022		
③ 日本郵便㈱	118,593		
④ その他	254,029		
(3) 前受金			
① 委託業務前受金	209,020		
② その他	82,607		
(4) 預り金			
① 源泉所得税	33,390		
② 社会保険料	108,945		
③ その他	22,095		
(5) 未払消費税等	655,100		
(6) 未払法人税等	72,200		
流動負債合計		5,819,635	
2. 固定負債			
(1) 長期借入金	10,000,000		
(2) 碧いびわ湖基金借入金	1,560,000		
(3) 退職金給付引当金	600,000		
固定負債合計		12,160,000	
負債合計			17,979,635
正味財産			7,023,088
負債・正味財産計			25,002,723

## 4. 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産 定率法を採用しています。
- ・無形固定資産 定額法を採用しています。

#### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金－債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法の法定率で回収不能見込み額を計上しています。
- ・退職給付引当金－役員の退職慰労金の支給に備えるため要支給額を計上しています。

#### (4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 固定資産の増減内訳 (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産					
車両運搬具	330,980			330,979	1
無形固定資産					
出資金	62,000				62,000
敷金	180,000				180,000
預託金	11,310				11,310
合計	253,310	0	0	0	253,310

### 3. 借入金が増減内訳 (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	10,000,000			10,000,000
碧いびわ湖基金借入金	2,660,000	50,000	1,150,000	1,560,000
合計	12,660,000	50,000	1,150,000	11,560,000



# 監査報告書

2020年5月11日

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

代表理事 村上 悟 様

監事 浅野 博

監事 辻 貴

監事 藤井 絢

特定非営利活動法人碧いびわ湖の2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（貸借対照表、収支計算書および財産目録）について、2020年5月11日、碧いびわ湖事務所にて監査を行いました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席して必要と認める場合には質問を行い、また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人碧いびわ湖の2020年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

## 第2号議案 2020年度活動決算

### 1. 活動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科目	2020年度実績	2019年度実績	前年度比	備考
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費				
運営会員受取会費	146,000	132,000	+ 14,000	運営会費 1,000円×146口
賛助会員受取会費	159,000	111,000	+ 48,000	賛助会費 3,000円×53口
2. 受取寄付金				
一般寄付	420,190	250,792	+ 169,398	寄付45名
事業指定寄付	0	1,159,500	△ 1,159,500	
3. 受取助成金	0	1,150,000	△ 1,150,000	
4. 事業収益				
A. 共同購入事業	19,476,096	20,107,727	△ 631,631	トイレットペーパー、ティッシュ、せつけん、お米、みかん等
B. リサイクル事業	12,534,793	12,217,498	+ 317,295	牛乳パック、廃食油、アルミ缶
C. 住まいづくり事業	2,281,540	10,275,102	△ 7,993,562	雨水タンク設置工事、太陽熱利用システム設置工事等
D. 地域づくり事業	3,673,904	2,854,044	+ 819,860	守山ぼたる再生プロジェクト、マガザン・レイクフォーラム運営補助等
E. その他事業	483,340	525,856	△ 42,516	合併浄化槽管理維持指導料等
5. その他収益				
受取利息	1,139	1,282	△ 143	
その他収入	2,933,812	42,764	+ 2,891,048	持続化給付金、家賃支援給付金等
経常収益計	42,109,814	48,827,565	△ 6,717,751	
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費				
①事業原価	22,367,474	28,179,071	△ 5,811,597	商品原価、原材料、作業委託料等
②人件費	12,581,095	12,180,507	+ 400,588	※次頁参照
③その他経費	6,853,544	8,604,820	△ 1,751,276	※次頁参照
事業費計	41,802,113	48,964,398	△ 7,162,285	
経常費用計	41,802,113	48,964,398	△ 7,162,285	
<b>当期経常増減額</b>	307,701	△ 136,833	+ 444,534	
<b>III. 経常外収益</b>	0	0	0	
<b>IV. 経常外費用</b>	0	0	0	
<b>当期正味財産増減額</b>	307,701	△ 136,833		
<b>前期繰越正味財産額</b>	7,023,088	7,159,921		
<b>次期繰越正味財産額</b>	7,330,789	7,023,088		(設立時寄付 3,129,780円含む)



《人件費及びその他経費内訳》

科目	2020年度実績	2019年度実績	前年度比	備考
人件費				
役員報酬	3,391,000	3,239,000	+ 152,000	常勤役員報酬・賞与
給料手当	5,830,000	5,546,000	+ 284,000	常勤職員給与・賞与
雑給	1,196,493	1,210,134	△ 13,641	アルバイト賃金
法定福利費	1,507,654	1,447,435	+ 60,219	社会保険料
福利厚生費	655,948	737,938	△ 81,990	職員通勤費、共済掛金等
人件費計	12,581,095	12,180,507	+ 400,588	
その他経費				
会員活動費	56,380	1,011,278	△ 954,898	あまいろ探偵団 活動費等
旅費交通費	79,140	171,625	△ 92,485	出張旅費、有料道路代金等
通信費	162,611	156,978	+ 5,633	電話、FAX、インターネット、切手等
会議費	0	8,907	△ 8,907	
減価償却費	0	0	0	
地代家賃	2,016,000	1,998,000	+ 18,000	事務所・倉庫家賃
保険料	241,180	306,970	△ 65,790	自動車保険料等
委託費	0	436,866	△ 436,866	
修繕費	19,019	0	+ 19,019	工事修繕費
水道光熱費	120,566	123,790	△ 3,224	事務所電気代、水道代、灯油代等
車両運搬費	1,098,910	1,128,025	△ 29,115	車両燃料代、車検・整備代等
消耗品費	63,359	107,182	△ 43,823	消耗資材
租税公課	1,209,540	1,170,080	+ 39,460	消費税、車両重量税、印紙税等
荷造運賃	661,007	696,334	△ 35,327	商品送料、郵送代金等
事務用品費	444,274	666,258	△ 221,984	コピー代、輪転機保守費用、事務用品等
広告宣伝費	21,954	539	+ 21,415	サンプル品等
支払手数料	482,280	462,264	+ 20,016	振込手数料、販売手数料、情報処理手数料等
諸会費	127,000	67,000	+ 60,000	関西ミルクロードの会、滋賀グリーン活動ネットワーク、リサイクルせっけん協会等
貸倒引当金繰入	△ 30,000	18,000	△ 48,000	
雑損失	7,960	2,340	+ 5,620	
法人税等	72,364	72,384	△ 20	法人税、住民税及び事業税
その他経費計	6,853,544	8,604,820	△ 1,751,276	

## 2. 貸借対照表

2021年3月31日現在

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	240,037	
預金	17,565,070	
供給未収金	2,263,692	
商品	2,295,011	
貯蔵品	73,632	
前払費用	198,000	
未収金	1,582,804	
貸倒引当金	△ 41,000	
流動資産合計		24,177,246
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1	
(2) 投資その他資産		
出資金	62,000	
敷金	180,000	
預託金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		24,430,557
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	3,384,878	
未払費用	264,595	
前受金	319,110	
預り金	179,285	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	599,700	
流動負債合計		4,819,768
2. 固定負債		
長期借入金	10,000,000	
碧いびわ湖基金借入金	1,560,000	
退職給付引当金	720,000	
固定負債合計		12,280,000
負債合計		17,099,768
III. 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		7,023,088
当期正味財産増加額		307,701
正味財産合計		7,330,789
負債及び正味財産合計		24,430,557

### 3. 財産目録

2021年3月31日現在

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金		
現金手許有高	240,037	
(2) 預貯金		
① 普通預金		
滋賀銀行 安土支店	3,340,658	
" "	56,064	
グリーン近江農協 安土支店	8,520	
近畿労働金庫 八日市支店	335,385	
② 郵便振替		
大阪貯金局事務センター	380,373	
③ 定期預金		
滋賀銀行 安土支店	12,123,932	
④ 定期積立		
滋賀銀行 安土支店	600,000	
" "	720,138	
(3) 供給未収金	2,263,692	
(4) 商品	2,295,011	
(5) 貯蔵品		
包装資材等	73,632	
(6) 前払費用		
翌年度4月分家賃	198,000	
(7) 未収入金		
委託事業等	1,582,804	
(8) 貸倒引当金		
当期繰入額	△ 41,000	
流動資産合計		24,177,246
2. 固定資産		
(1) 車両運搬具		
廃食用油回収用軽トラック	1	
(1) 出資金		
① せっけんの街共有者の会	50,000	
③ リサイクルせっけん協会	12,000	
(2) 敷金		
家賃敷金	180,000	
(3) 預託金		
自動車リサイクル料金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		24,430,557



科 目	金 額		
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 買掛金	3,384,878		
(2) 未払費用			
① 暮らシフト研究所	51,337		
② ㈲大野石油	64,209		
③ 日本郵便㈱	99,385		
④ その他	49,664		
(3) 前受金			
① 委託業務前受金	209,020		
② その他	110,090		
(4) 預り金			
① 源泉所得税	38,140		
② 社会保険料	113,328		
③ その他	27,817		
(5) 未払消費税等	599,700		
(6) 未払法人税等	72,200		
流動負債合計		4,819,768	
2. 固定負債			
(1) 長期借入金	10,000,000		
(2) 碧いびわ湖基金借入金	1,560,000		
(3) 退職金給付引当金	600,000		
固定負債合計		12,160,000	
負債合計			16,979,768
正味財産			7,450,789
負債・正味財産計			24,430,557

## 4. 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産 定率法を採用しています。
- ・無形固定資産 定額法を採用しています。

#### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金－債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法の法定率で回収不能見込み額を計上しています。
- ・退職給付引当金－役員の退職慰労金の支給に備えるため要支給額を計上しています。

#### (4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況 (単位：円)

勘定科目	共同購入事業	リサイクル事業	住まいづくり事業	地域づくり事業	その他事業	非収益部門	合計
①運営会費						146,000	146,000
②賛助会費						159,000	159,000
③寄付金収入						420,190	420,190
④事業収入	19,476,096	2,281,540	12,534,793	3,673,904	483,340		38,449,673
⑤雑収入他					2,934,951		2,934,951
経常収益計	19,476,096	2,281,540	12,534,793	3,673,904	3,418,291	725,190	42,109,814
①事業原価	14,863,532	1,157,706	4,482,664	1,828,145	35,427	0	22,367,474
②事業費							0
人件費	6,290,547	754,867	4,151,761	1,258,110	125,810	0	12,581,095
その他	3,390,840	406,900	2,237,954	678,168	67,318		6,781,180
経常費用計	24,544,919	2,319,473	10,872,379	3,764,423	228,555	0	41,729,749
経常損益増減高	-5,068,823	-37,933	1,662,414	-90,519	3,189,736	725,190	380,065

### 3. 固定資産の増減内訳 (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産					
車両運搬具	330,980			330,979	1
無形固定資産					
出資金	62,000				62,000
敷金	180,000				180,000
預託金	11,310				11,310
合計	253,310	0	0	0	253,310

### 4. 借入金を増減内訳 (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	10,000,000			10,000,000
碧いびわ湖基金借入金	1,560,000			1,560,000
合計	11,560,000	0	0	11,560,000

# 監査報告書

2021年5月10日

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

代表理事 村上 悟 様

監事 浅野 博

監事 辻 貴

監事 藤井 純

特定非営利活動法人碧いびわ湖の2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（貸借対照表、収支計算書および財産目録）について、2021年5月10日、碧いびわ湖事務所にて監査を行いました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席して必要と認める場合には質問を行い、また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人碧いびわ湖の2021年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。



## 第2号議案 2021年度活動決算

### 1. 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科目	2021年度実績	2020年度実績	前年度比	備考
<b>I. 経常収益</b>				
1. 受取会費				
運営会員受取会費	133,000	146,000	△ 13,000	運営会費 1,000円×133口
賛助会員受取会費	171,000	159,000	+ 12,000	賛助会費 3,000円×57口
2. 受取寄付金				
一般寄付	438,410	420,190	+ 18,220	寄付者33名
事業指定寄付	0	0	0	
3. 受取助成金	0	0	0	
4. 事業収益				
A. 共同購入事業	20,839,227	19,476,096	+ 1,363,131	トイレットペーパー、ティッシュ、 せっけん、お米、みかん等
B. リサイクル事業	11,581,268	12,534,793	△ 953,525	牛乳パック、廃食油、アルミ缶
C. 住まいづくり事業	5,156,569	2,281,540	+ 2,875,029	雨水タンク、太陽熱温水器設置工 事等
D. 地域づくり事業	10,385,200	3,673,904	+ 6,711,296	MLGs推進事業、守山市環境学習事 業、子ども県議会等
E. その他事業	434,940	483,340	△ 48,400	合併浄化槽管理維持指導料等
5. その他収益				
受取利息	270	1,139	△ 869	
その他収入	499	2,933,812	△ 2,933,313	(2020年度は新型コロナ給付金)
経常収益計	49,140,383	42,109,814	+ 7,030,569	
<b>II. 経常費用</b>				
1. 事業費				
①事業原価	30,489,605	22,367,474	+ 8,122,131	商品原価、原材料、作業委託料等
②人件費	12,924,537	12,581,095	+ 343,442	※次頁参照
③その他経費	7,570,939	6,853,544	+ 717,395	※次頁参照
事業費計	50,985,081	41,802,113	+ 9,182,968	
経常費用計	50,985,081	41,802,113	+ 9,182,968	
<b>当期経常増減額</b>	△ 1,844,698	307,701	△ 2,152,399	
<b>III. 経常外収益</b>	0	0	0	
<b>IV. 経常外費用</b>	0	0	0	
<b>当期正味財産増減額</b>	△ 1,844,698	307,701		
<b>前期繰越正味財産額</b>	7,330,789	7,023,088		
<b>次期繰越正味財産額</b>	5,486,091	7,330,789		(設立時寄付 3,129,780円含む)

《人件費及びその他経費内訳》

科目	2021年度実績	2020年度実績	前年度比	備考
人件費				
役員報酬	3,354,000	3,391,000	△ 37,000	常勤役員報酬・賞与
給料手当	5,776,000	5,830,000	△ 54,000	常勤職員給与・賞与
雑給	1,521,353	1,196,493	+ 324,860	アルバイト賃金
法定福利費	1,504,940	1,507,654	△ 2,714	社会保険料
福利厚生費	768,244	655,948	+ 112,296	職員通勤費、共済掛金等
人件費計	12,924,537	12,581,095	+ 343,442	
その他経費				
会員活動費	67,624	56,380	+ 11,244	あまいろ探偵団 活動費等
旅費交通費	72,575	79,140	△ 6,565	出張旅費、有料道路代金等
通信費	192,597	162,611	+ 29,986	電話、FAX、インターネット、切手等
会議費	1,110	0	+ 1,110	
地代家賃	2,376,000	2,016,000	+ 360,000	事務所・倉庫家賃
保険料	272,620	241,180	+ 31,440	自動車保険料等
修繕費	0	19,019	△ 19,019	
水道光熱費	129,882	120,566	+ 9,316	事務所電気代、水道代、灯油代等
車両運搬費	1,329,355	1,098,910	+ 230,445	車両燃料代、車検・整備代等
消耗品費	84,535	63,359	+ 21,176	消耗資材
租税公課	1,195,460	1,209,540	△ 14,080	消費税、車両重量税、印紙税等
荷造運賃	643,499	661,007	△ 17,508	商品送料、郵送代金等
事務用品費	412,867	444,274	△ 31,407	コピー代、輪転機保守費用、事務用品等
広告宣伝費	7,800	21,954	△ 14,154	サンプル品等
支払手数料	483,195	482,280	+ 915	振込手数料、販売手数料、情報処理手数料等
諸会費	187,000	127,000	+ 60,000	関西ミルクロードの会、滋賀グリーン活動ネットワーク、リサイクルせっけん協会等
貸倒引当金繰入	30,000	△ 30,000	+ 60,000	
雑損失	12,620	7,960	+ 4,660	
法人税等	72,200	72,364	△ 164	法人税、住民税及び事業税
その他経費計	7,570,939	6,853,544	+ 717,395	

## 2. 貸借対照表

2022年3月31日現在

科目	金額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	159,933	
預金	13,772,795	
供給未収金	2,495,579	
商品	2,458,068	
貯蔵品	55,070	
前払費用	198,000	
未収金	4,288,696	
貸倒引当金	△ 71,000	
流動資産合計		23,357,141
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1	
(2) 投資その他資産		
出資金	62,000	
敷金	180,000	
預託金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		23,610,452
II. 負債の部		
1. 流動負債		
買掛金	3,159,807	
未払費用	1,447,612	
前受金	329,669	
預り金	168,473	
未払法人税等	72,200	
未払消費税	546,600	
流動負債合計		5,724,361
2. 固定負債		
長期借入金	10,000,000	
碧いびわ湖基金借入金	1,560,000	
退職給付引当金	840,000	
固定負債合計		12,400,000
負債合計		18,124,361
III. 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		7,330,789
当期正味財産増加額		△ 1,844,698
正味財産合計		5,486,091
負債及び正味財産合計		23,610,452



### 3. 財産目録

2022年3月31日現在

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金		
現金手許有高	159,933	
(2) 預貯金		
① 普通預金		
滋賀銀行 安土支店	2,227,597	
" "	56,064	
グリーン近江農協 安土支店	8,520	
近畿労働金庫 八日市支店	334,837	
② 郵便振替		
大阪貯金局事務センター	132,836	
③ 定期預金		
滋賀銀行 安土支店	10,022,803	
④ 定期積立		
滋賀銀行 安土支店	150,000	
" "	840,138	
(3) 供給未収金	2,495,579	
(4) 商品	2,458,068	
(5) 貯蔵品		
包装資材等	55,070	
(6) 前払費用		
翌年度4月分家賃	198,000	
(7) 未収入金		
委託事業等	4,288,696	
(8) 貸倒引当金		
当期繰入額	△ 71,000	
流動資産合計		23,357,141
2. 固定資産		
(1) 車両運搬具		
廃食用油回収用軽トラック	1	
(1) 出資金		
① せっけんの街共有者の会	50,000	
③ リサイクルせっけん協会	12,000	
(2) 敷金		
家賃敷金	180,000	
(3) 預託金		
自動車リサイクル料金	11,310	
固定資産合計		253,311
資産合計		23,610,452

科 目	金 額	
Ⅱ. 負債の部		
1. 流動負債		
(1) 買掛金	3,159,807	
(2) 未払費用		
① MLGs推進事業関連費	1,056,480	
② ㈱大野石油	55,840	
③ 日本郵便㈱	106,158	
④ その他	229,134	
(3) 前受金		
① 委託業務前受金	209,020	
② その他	120,649	
(4) 預り金		
① 源泉所得税	35,580	
② 社会保険料	113,056	
③ その他	19,837	
(5) 未払消費税等	546,600	
(6) 未払法人税等	72,200	
流動負債合計		5,724,361
2. 固定負債		
(1) 長期借入金	10,000,000	
(2) 碧いびわ湖基金借入金	1,560,000	
(3) 退職金給付引当金	840,000	
固定負債合計		12,400,000
負債合計		18,124,361
正味財産		5,486,091
負債・正味財産計		23,610,452

## 4. 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産 定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）は定額法）を採用しています。
- ・無形固定資産 定額法を採用しています。

#### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金—債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法の法定率で回収不能見込み額を計上しています。
- ・退職給付引当金—役員退職慰労金の支給に備えるため要支給額を計上しています。

#### (4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況（単位：円）

勘定科目	共同購入事業	リサイクル事業	住まいづくり事業	地域づくり事業	その他事業	非収益部門	合計
①運営会費						133,000	133,000
②賛助会費						171,000	171,000
③寄付金収入						438,410	438,410
④事業収入	20,839,227	11,581,268	5,156,569	10,385,200	434,940		48,397,204
⑤雑収入他					769		769
経常収益計	20,839,227	11,581,268	5,156,569	10,385,200	435,709	742,410	49,140,383
①事業原価	15,733,546	3,932,288	4,031,775	6,777,596	14,400		30,489,605
②事業費							0
人件費	5,565,143	3,092,793	1,377,069	2,773,381	116,151		12,924,537
その他	3,228,862	1,794,420	798,967	1,609,099	67,390	0	7,498,738
経常費用計	24,527,551	8,819,501	6,207,810	11,160,076	197,943	0	50,912,881
経常損益増減高	-3,688,324	2,761,767	-1,051,241	-774,876	237,766	742,410	-1,772,498

### 3. 固定資産の増減内訳（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産					
車両運搬具	330,980		0	330,979	1
無形固定資産					
出資金	62,000	0	0	0	62,000
敷金	180,000	0	0	0	180,000
預託金	11,310	0	0	0	11,310
合計	253,310	0	0	0	253,310

### 4. 借入金を増減内訳（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	10,000,000			10,000,000
碧いびわ湖基金借入金	1,560,000			1,560,000
合計	11,560,000	0	0	11,560,000



# 監査報告書

2022年5月11日

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

代表理事 村上 悟 様

監事 浅野 博

監事 辻 貴

監事 藤井 絢

特定非営利活動法人碧いびわ湖の2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（貸借対照表、収支計算書および財産目録）について、2022年5月11日、碧いびわ湖事務所にて監査を行いました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席して必要と認める場合には質問を行い、また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人碧いびわ湖の2022年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。